

- ◆ 会場：柏崎原子力広報センター 2F 研修室
- ◆ 出席委員：新野・川口・久我・三宮・前田・武本委員…6名
- ◆ オブザーバー：保安院／金城所長 エネ庁／沼田所長 東京電力／長野室長 守GM
- ◆ 事務局：柏崎市／藤巻主任 広報センター／押見事務局長・木村
- ◆ ライター：吉川

次回以降定例会内容について

➤ 6月6日 第48回定例会(勉強会)

- ◆ 内容の中で、事例をいくつかあげて説明するということが、東電問題の件もあり、具体的な事例での説明が良いのか、それとも一般的な事例が良いのか、その辺りはどうか。

↓

〈委員意見〉・具体的な事例をあげてもらったほうがいいのではないか。

- ・一般的なものと、内容がぼけてしまうのではないか。
- ・具体的な事例のほうが分かりやすいのではないか。
- ・東電の具体的な事例となると、生々しすぎるのではないか。いろんな立場の人もいるので、質問で出てきた場合は別にして、一般的な事例にしたほうがいいように思う。

↓

具体的な事例については、東電の事案が質問のほうで必ず出てくるように思うので、そちらを厚めに準備してもらうこととする。

(全体的な流れ)

前回以降の動き	6:30~7:00
勉強会	7:00~8:30
質疑	8:30~9:00

➤ 7月4日 第49回定例会

- ・ 勉強会と6月下旬の保安院説明を受けてのフリーディスカッション。(予定)
- ・ 全委員の発言の場とする。

➤ 8月1日 第50回定例会

- ・ 放射線、放射能についての説明。(予定)
- ・ 委員質問事項にあがっているコバルト60関連についても、ここで説明。(予定)

※再発防止対策についての状況等の説明がいずれできると思う。半年くらい活動したものを報告することとしたい。(東電)

## 年間計画について

### ➤ 県外視察について

- ・ 東海、福島、浜岡というような希望が出ていた。
- ・ 福島については高経年化関連。
- ・ 志賀原発もいいのでは。地震関連で、海岸隆起の状態が見られるのではないか。
- ・ 志賀原発は見せてもらえるのなら見たいと思う。
- ・ 浜岡については、地震関連。秋頃であれば、改修が終わっているのではないか。
- ・ 以前、いくつか候補をあげて新委員が決まってからアンケートをとるといった話があったようだが。
- ・ 時期については必然的に9月以降ということになるのではないか。

#### 〈決定事項〉

- ・ 福島、浜岡、志賀の3つでアンケートを実施。次回定例会の案内と一緒に配布。
- ・ 予定としては9月か10月に1泊2日で。(平日と休日を利用して)
- ・ 事務局のほうで、行程時間等を調べ、

### ➤ 柏崎刈羽原発視察について

- ・ 新委員で、初めての方もいるので、中に入るということが前提。
- ・ 半日程度で見学できる。2時間半程度が一般的な見学コース。(東電)
- ・ 視察もそうだが、基礎講座の開催も必要なのではないか。講座と視察をセットにしてもいいのでは。(市)
- ・ 4時くらいに終わるのであれば、講座と視察をセットにしてやるべき。
- ・ 基礎講座的なものは、2期でやれなかったという反省点もあるのでやるべき。
- ・ 例えば、日曜・月曜の2日間でやることも可能か。→可能である。(東電)
- ・ 見学の際、話題になったところも見た方がいい。(二重扉・コバルト60の件・ガス漏れ等)
- ・ 時期的には7月頃を予定したらどうか。
- ・ 講座の中で、行政組織についての説明もあるとわかりやすい。

#### 〈決定事項〉

- ・ 7月中に、午前原子力関連基礎講座、午後発電所視察という日程で実施。

### ➤ 特別な保安検査の説明について

- ・ 検査制度の説明が昨年後半来、先送りになっており、保安院には説明のための準備を前々からしてもらっていたこともあるので、6月下旬に特別な保安検査が終了するという事なら、説明してもらおう場を、定例会とは別に持ったほうがいいのではないか。
- ・ 保安検査の透明性を高めるということで、保安検査をきちんと説明するという内容が対策の中にも入っているが、6月下旬になれば検査が終了しているので、検査の内容も説明できると思うし、後半の時間で検査制度の説明をすることもできる。(保安院)
- ・ 次回定例会の案内の中で、6月下旬に臨時会として会を設けるということを委員にお知らせしたらどうか。

#### 〈決定事項〉

- ・ 6月下旬に臨時会開催。特別な保安検査と検査制度に関する説明。

➤ 秋以降の予定

- ・ 秋くらいになると地下探査の件も出てくる。
- ・ 4年前に提案したことに対して、東電の改善経過を確認するような場を持ってもいいのでは。

・ 4年前の検証という点に絡んで、ISO が認可されると半年後くらいに通常の検査があるはず。それとは別に社会的な問題になったようなものについては、特別検査があったりする。東電も数例しかない特別検査の対象になっているというようなことを聞いたが、本当なのか。→ 事実関係を確認する。(東電)

- ・ 昨年度意見が出された、保安院とエネ庁からそれぞれの立場での話をしてもらい、それを受けての意見交換の時間もとったほうがいいのでは。

委員質問意見について

➤ コバルト60関連

- ・ 放射性物質や放射線の管理については、分かりやすく説明してほしいということを以前言われ、今回も質問をいただいているので、時間をとって説明したほうがいいのではと考えているが。(東電)
- ・ コバルト60の検出の件で、微量だからいいという意見から、風評被害になるから困る等の意見まで、それぞれの立場であると思うが、他県と比較してどうなのかという点も知りたい。福島や浜岡と比較するという事になると、県に頼まないとデータが出てこないのか。県のほうでもそういった比較はしているのではないかと思うので、示してもらいたい。
- ・ 周辺環境の影響の調査というのは、県の評価会議というところで、東電と県のデータを付き合わせてやっている。(東電)
- ・ 今回の件が、本当に病気を起こすものなのか、出てくることに対する基準値がいくつなのかというような現実論で説明してもらわないと、わかりにくいのではないか。
- ・ 放射能、放射線というテーマについては、時間をとってやったほうがいいのかもしれない。
- ・ 放射線について、何が危険で何が危険でないか等の認識を持つことも必要なのではないかと。全てが危険だという捉え方をしかねない。

〈決定事項〉

- ・ 放射線、放射能、コバルト60関連については、8月定例会あたりにこれらをテーマに予定することとする。

➤ ガス吐出事故関連

- ・ 7月の発電所視察の際に、現場を見ながら説明させてもらおう。(東電)

➤ 保安院への質問関連

- ・ 一連の問題に関しては行政処分で終わりということではなく、これによってやらなければならないことが多数あるので、保安院としてはこれがスタートラインという認識でいるのだが。(保安院)

↓

- ・ 住民と国側の認識の違いあたりを、うまく説明してもらおう必要がある。

- ・ 何か問題を起こせば罰金等があるというような、社会的緊張関係の中で今の社会が成り立っているのに、電力は何をやっても咎められないというような見方を、かなりの人がしたはず。信用できないという空気を非常に怖いと感じている。
- ・ 口頭でいいので、保安院から回答をもらえばいいのではないかと。  
↓
- ・ 次回6月定例会にて、口頭で説明することとする。次回定例会にて宿題が残るようであれば、6月下旬の臨時会にて説明。(保安院)

#### 視点内容について

- ・ 前回定例会において、設計段階で130回のスクラムを想定していると説明したが、180回が正しい回数。誌面上ではその部分を訂正させていただきたい。(東電)  
↓
- ・ 大枠での意味合いが変わらない程度のものは、正しい数値に差し替えてもらうべき。
- ・ 要望書と新委員、退任委員を掲載したため、みんなの広場は無しとした。
- ・ 会議内容のページには写真を載せるスペースがない。
- ・ 3回分の会議内容で、各資料が全て上段の位置になっているが、全部上段にする必要はないのではないか。
- ・ 表紙について、写真とコンテンツの配置を、もう少し工夫して業者に考えてもらってもいいのではないか。

#### その他

##### ➤ 対マスコミについて

- ・ 大方が合意できる専門家がいるのかというあたりで、検討したが選任できなかったという経緯があるが、内部だけで理解していたことであり、外部の人にはわかりにくい部分があったように思う。
- ・ 外部にしてみれば、4年も地域の会をやっているのなら今後どのように育つのかという見方をする部分もある。が、この会は専門家になろうとする会ではないので、あくまでも住民の目線で議論する会というあたりの外部との認識の違いをどこかでPRしていく必要があるように思う。
- ・ マスコミの目から見る地域の会という辺りの話を聞いてみたい気もする。マスコミにはマスコミの理想像があるようにも思うので、話し合う機会を持つこともいいのでは。
- ・ マスコミとの意見交換を持つことは必要なことだと思う。
- ・ いろんな角度でものを見ることは決して悪いことではないと思うし、それを良い悪いでジャッジする必要のない会であるので、一回話す場を持つこともいいのでは。

##### ➤ 県の技術委員会について

- ・ 技術委員会のメディア公表が、前日あるいは前々日ということなので、委員への周知が難しい。日程的に厳しい状況ではあるが、一度は行ってみる価値のある会だと考えている。